

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro大船		
○保護者評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族への相談支援を行うことで、利用者の情報共有の場を設ける機会を多数確保できている。	送迎後に自宅へ訪問し、相談援助を行っている。	HUGを最大限に活用し、保護者に周知する。
2	保護者も参加できるイベントを実施することで、開かれた事業所を目指している	月1回実施できるように企画を行っている。	今後も継続して行っていく。 次年度については、4月で年間行事予定を出して、より保護者参加を促す予定。
3	必要事項の説明を定期的に行っている。	契約時やモニタリング等、児発管と協力しながら懸念点をあらかじめ保護者に伝えるようにしている。	定期的に伝達事項の見直しをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラムの充実	利用者の状況に合わせた、個別のプログラムの導入	現在は全体向けのプログラムなので、今後個別に行うプログラムを検討し、より良い利用者への支援を行う。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	toiro大船				公表日	2025年 3月 10日		
				利用児童数	4		回収数	1
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	1	保護者交流の場が欲しい	今後、保護者参加イベントだけではなく、利用者や保護者同士が交流を持てる機会を検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	toiro大船		公表日		2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	7	パーテーションを設置したりして、宿題スペースを確立している。	室内だけでは、子どもが十分に動けるスペースが不足していると感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	9		・配慮を要する児童に対応するのであれば2対1は必要(常時)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	8	宿題に集中できるようにパーテーションを導入している。	教室までに階段が多数ある為、都度声掛けを行ったり、歩行困難な利用児童に対しては補助をしたりする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	8	定期的に室内配置を変更している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	7	パニック時の対応に別室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	6		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	ミーティングが定期的に開催されている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	6	社内研修が毎月実施されており、参加も出来ている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	5	曜日等で飽きないようにイベントを変更している。	個別のプログラムの実施が難しい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1	・契約時や定期モニタリング時に必須項目として行っている。 ・丁寧に保護者の話を聞いている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	4	社内ツールを使い、情報共有を積極的に行っている。	質的には未だ不足している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	6		共有できていない部分が一部ある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	ケア記録に記載をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインを参照に、個々のアセスメントをもとに作成できている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	適宜相談できている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	月の予定は流動的に作られている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	イベント内でそれぞれの配慮事項を確認し実行している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日の昼礼時に共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	気づいたことがあれば、都度確認することが出来ている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	法令にのっとって実施できている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	法令にのっとって実施できている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	会議等で実施できている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者参加イベントを、事業所として月1回以上行っている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時の説明やモニタリング時に行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリングの時期に合わせて必ず行っている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	契約時やモニタリング時に行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	運動会やクリスマスイベント等、家族参加イベントを実施している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ブログの作成を毎月行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	常時の管理や契約時に必ず説明を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	相談支援専門員や行政への共有と併せて実施している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	家族から請求があれば開示するようにしている。今後、保護者を招いての説明会を実施予定。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	計画書を作成した上で、避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	利用開始時にアセスメントをかねて実施できている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	利用開始時にアセスメントをかねて実施できている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	強化週間を定め、社員一同取り組んでいる。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	会社の研修等で対応できていると思う。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	同意書を必須としたうえで、家族に説明を行っている。		